

森林保全部門では林野庁長官賞（最優秀賞）を受賞

一二月四日（木）林野庁において、平成二六年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。

発表会は、局署等における現場業務の実行を通じて得られた森林の整備手法、森林環境教育及び業務改善等の取組成果を発表するものです。四国局から、三課題を発表し、審査の結果

森林保全部門において、愛媛森林管理署の「大正時代の治山事業調査」に対して林野庁長官賞（最優秀賞）を受賞しました。

森林技術部門において、（株）とされいほく・嶺北森林管理署の「H型架線集材システム」急傾斜林地における効率的な集材システム」に対して林業機械化協会会長賞を受賞しました。

森林ふれあい部門では、南つるぎ地域活性化協議会・香川森林管理事務所（元徳島森林管理署）の「剣山南側の地域活性化への取組と今後の課題」を発表しました。今後におきましても職員の皆様のご協力よろしく願います。

「四国森林・林業研究発表会」

1月22日 開催

平成26年度「四国森林・林業研究発表会」を、平成27年1月22日（木）に同大会議室で開催します。発表課題は局署等から9課題。以下、課題概要等。

- ・入野松原の再生
- ・地域住民と国有林を結ぶ取組
- ・三嶺のオーバーユース及びシカ食害対策
- ・シカ食害防止クリップ、エリートツリー植栽の検証
- ・小型囲いわなによるシカ捕獲・普及
- ・荒廃地の復旧方法の検討
- ・民有林直轄地すべり防止の取組と成果
- ・落石防止対策の取組
- ・かかり木の安全対策

さらに、いの町役場等から3課題、県立高校から2課題、研究機関等から4課題、計18課題が発表されます。発表者は、分かり易い説明資料等の準備を、また、聴講者は、今後の業務に活かすためにも積極的な質問等願います。

編集後記

2015年が明けました。今年も体調に留意して日々の生活を。ひつじ年もご愛読よろしく願います。（技術普及課一同）

コンテナ苗を活用した検討会 12.3～4 技術開発担当者会議

12月3日（水）・4日（木）の2日間、平成26年度技術開発担当者会議を開催しました。

今回は、局・高知県・（独）森林総研四国支所等との「コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究」現地検討会と合わせての開催となりました。

1日目は、高知県土佐町のH型架線集材事業地における、架線を利用したコンテナ苗の運搬・スギ植栽箇所を視察し、コンテナ苗植栽における試験方法等について意見交換を行いました（写真上）。その後、局での技術開発担当者会議では、森林技術・支援センターの取組等について説明、意見交換等を行いました。2日目は、高知県土佐山田町でコンテナ苗生産業者ハウス等を視察し、コンテナ苗の播種から出荷に至る工程等について意見交換等を行いました（写真下）。

二日間を通じて、それぞれの職場で、今後の業務に生かせる会議となりました。

